

# 2006年度上期選手・コーチ合同会議

## <会議次第>

1. はじめに:配付資料確認
2. 2006年度オリ特事業計画
3. 2006年4-9月事業報告 ・全体報告  
・各担当コーチ報告
4. 2006年10月以降事業
5. 2006年度ランキング発表
6. 2007年NT選考レース
7. 2007年全体計画  
遠征、物流等
8. アジア大会派遣に係わるJOCとの折衝経緯およびJOCオリンピック選手団編成方針
9. 全体質疑応答
10. 河野 JSAF 副会長・オリンピック特別委員会委員長 挨拶

2006年10月18日  
オリンピック特別委員会

# 1. はじめに

配付資料確認

## 2. オリンピック特別委員会平成18年度(2006年度)事業計画 (注1)

オリンピック特別委員会(以下オリ特委と称す)は、北京五輪でのメダル獲得、複数種目の入賞を達成目標に、五輪種目の艇種別候補選手の競技力向上を図るために策定した重点方針に基づき事業を実施します。オリ特委は、選手を含め相互の努力によって目標達成ができる組織体制と、JSAFゴールドプランに基づき世界の上位で戦える日本セーリング界の構築が大きな目標であります。

### I. 重点方針

1. 北京五輪でのメダル獲得と複数種目の入賞
2. アジア大会(2006年12月カタール)のオリンピッククラス全種目金メダルの獲得
3. 選手が強化活動をスムーズに行える環境の整備と体制作り
4. JOCゴールドプランに基づく次世代を担う選手の育成・強化
5. 事業別予算・実績管理の徹底と効率的な資金計画・運用

### II. 組織・役割 (注2)

1. 名称: 北京オリンピック特別委員会
2. 組織:
  - ・オリンピック特別委員にマネジメント委員会、強化事業委員会、指導・評価委員会の三委員会を設けます
3. オリンピック特別委員長および上記各委員会の委員長、副委員長からなる強化統括委員会を設置し、強化計画の立案などに当たります

### III. 平成18年度(2006年度)事業計画

平成18年度は重点方針に沿い、関係団体並びに各委員会と連携し、選手が強化活動をスムーズに行える環境作りの整備を第一に以下の事業に取り組めます。

#### 1. 海外派遣事業

- (1) JOC委託事業
- (2) スポーツ振興基金重点強化助成事業

(注1)

事業計画は2006年3月9日に発表  
JSAFのHPに掲載済み

(注2)

委員会の組織および業務の詳細はオリ特HP  
を参照下さい

ア. オリンピック 6 種目世界選手権大会派遣

- 470級 ..... 9月 中国(日照)
- レーザー級 ..... 9月 韓国(濟州島)
- レーザーラジアル級 ..... 7月 ロサンゼルス
- 49er 級 ..... 6月 フランス
- RS-X 級 ..... 9月 イタリア
- イングリッド級 ..... 6月 フランス

- イ. アジア大会派遣 (JOC直轄事業) ..... 12月 カタール (注3)
- ウ. ヨーロッパ遠征派遣 (ISAFワールド含む) ..... 4-7月 ヨーロッパ各国
- エ. 海外強化合宿 ..... 5月 ヨーロッパ各国
- 8月 日照 (470)
- エ. オリンピックテストイベント派遣 ..... 8月 青島
- ウ. セールメルボルン派遣 ..... 1月 オーストラリア

(3) スポーツ振興基金助成事業

- ア. 470ジュニアワールド選手権大会派遣 ..... 7月 ドイツ
  - イ. ISAFワールドユース選手権大会派遣 ..... 7月 イギリス
- \*上記2事業は「競技力向上委員会」と連携した次世代を担う選手の育成・強化事業

2. 国内強化事業

(1) JOC委託事業

(2) スポーツ振興基金重点強化助成事業

- ア. ナショナルチーム強化合宿  
オリンピック種目 2006年度ナショナルチーム強化合宿
- イ. JISS (国立スポーツ科学センター) を利用したナショナルチームフィットネス合宿
- ウ. 海外優秀選手招聘合宿 (オリンピック種目)
- エ. 海外コーチ招聘合宿 (レーザー級)

\* 補助金申請:海外派遣事業および国内強化事業についてJOCまたはスポーツ振興基金のどちらかに補助申請するかは  
今後、補助金支給団体との折衝によって決定します (注4)

(注3)

アジア大会選手団は【資料4】 参照

(注4)

2006年度助成および委託は以下の通りで決定

- スポ振一般助成
  - ・ 470ジュニア派遣
  - ・ オリンピックウィーク開催
- スポ振重点強化助成
  - ・ 470級、レーザー級ヨーロッパ遠征
  - ・ 470級選手招聘合宿

JOC委託事業

- ・ クラス別世界選手権派遣
- ・ ISAFワールドユース派遣
- ・ テストイベント派遣
- ・ 国内合宿 等 11事業

(3) スポーツ振興くじ (toto) 助成事業

ア. アンチドーピング推進 (啓発・検査) 事業

\*本事業は「医事・科学委員会」と連携した事業

イ. 将来性を有する選手の発掘、育成・強化事業

\*本事業は「競技力向上委員会」と連携した次世代を担う選手の育成・強化事業

3. 自主計画事業

(1) オリンピック会場(青島)継続事前調査事業 …… 青島ベースキャンプの確定

(2) 青島気象データ収集・調査事業 (注5)

(2) 2007年ナショナルチーム選考会 (注6)

(3) 国内強化活動事業

(4) 海外強化活動事業

(5) 海外遠征支援業務

(6) 管理関係業務

(注5)、(注6)  
後述

4. その他

(1) オリ特ホームページの充実

(2) ランキングシステムの改定(注7)

(注7)  
後述

以上

### 3. 2006年4月－9月事業報告

オリンピック特別委員会は前述事業計画に沿い4月－9月以下の事業を推進して来ました。

なお、次世代を担う選手の育成・強化に関しては「競技力向上委員会」と連携を保って推進しています。

#### 1. 国内強化合宿

- ・ レーザーラジアル級ナショナルチーム強化合宿 <補助対象外自主事業>  
6月6日～6月11日 静岡県御前崎  
なお本合宿にはレーザー級ナショナルチーム選手も自主練習会を実施、ISAFワールドユース代表選手も参加しました。
- ・ レザー級ナショナルチーム強化合宿 <JOC委託事業>  
7月1日～7月6日 佐賀県唐津ヨットハーバー
- ・ レザー級コーチ招聘合宿 <JOC委託事業>  
8月8日～8月13日 静岡県御前崎  
昨年に引き続きスウェーデンからアテネオリンピック6位のカールネルソン氏を招聘、9月濟州島世界選手権参加選手の強化を行いました。

#### 2. 競技会開催

- ・ ISAFワールドユース2006日本代表選手選考会  
5月5日～5月7日 佐賀県唐津ヨットハーバー (注8)
- ・ 470ジュニア選手権日本代表選手選考会  
次世代を担う選手が数多く選考会に参加出来る様に昨年に引き続き東西で開催しました。  
西日本地区選考会 6月 3日～ 4日 新西宮ヨットハーバー  
東日本地区選考会 6月10日～11日 葉山新港 (注9)
- ・ JOCジュニアオリンピックカップ兼JSAFユースセーリングチャンピオンシップ2006  
9月8日～10日 佐賀県唐津ヨットハーバー (注10)

#### (注8)

- ・アジア大会420級選考も兼ねる
- ・ISAFワールドユース会場は2012年オリンピック会場のウェイマス
- ・420男女、レーザー、ラジアルの優勝者6名を選考

#### (注9)

- ・アジア大会ミストラル級女子の選考も併せて行いました
- ・アジア大会420級の参加年齢制限が確定していませんでしたので同クラスの選考も行ないましたがU-19に決定したため、ISAFワールドユース代表が参加する事となりました。
- ・アジア大会470男女およびレーザーは世界選手権大会の最上位者が代表となります。

#### (注10)

大会に併せてJOCが次世代のアスリートにオリンピックの夢を与える目的で主催する「ジュー無いオリンピックカップトライアル」が開催され、アテネオリンピック女子バレーボールチーム主将であった吉原 智子さんの講演会が開催されセーリング選手のみでなく父兄、地域住民が数多く参加、盛大に開催されました。

### 3. 海外派遣 (注11)

・ナショナルチーム選手

#### (1) ヨーロッパ遠征 (注12)

各クラス、選手のレベルアップを目標に4月初旬より5月末まで以下のヨーロッパ遠征を行いました。

ア. プリンセスソフィアレガッタ 4月6日～4月13日 スペイン・マヨルカ島

参加艇 470級男子2、女子3、レーザー級4、ラジアル級2、イングリング級1

#### 種目別順位

種目	選手名	所属	参加艇数	順位	備考
470男子	関 一人 柳川 祥一	関東自動車工業	76	13	
	松永 哲也 上野 太郎	Three Bond		76	艇破損でDNC
470女子	近藤 愛 鎌田 奈緒子	アビームコンサルテイング	49	13	
	吉迫 由香 大熊 典子	ヘネッセコーポレーション		14	
	井嶋 千寿子 加藤 彩香	東亜建設工業		17	
レーザー	飯島 洋一	飯島木型	104	33	
	永井 久規	豊田合成		37	
	ホール イアン	第一経済大学		77	
	沖西 祥宏	SPNセーリング		100	
ラジアル	石川 あゆみ	ヘネッセコーポレーション	76	59	
	長谷川 哲子	静岡大学		67	
イングリング	重 由美子 堀内 真優美	玄海セーリングクラブ	26	19	
	名倉 海子	飛鳥建設			

(注11)

海外派遣成績の国順位は日本選手最上位成績者の国順位

(注12)

【資料1】

ヨーロッパ遠征3大会(プリンセスソフィア、イエール、ISAFゲーム)の成績分析資料 参照

イ. イエールオリンピックウィーク 4月21日～4月28日 フランス・イエール

参加艇 470級男子3、女子3、レーザー級4、ラジアル級2、イングリング級1

RS：X級女子1、49er級1

種目別順位

種目	選手名	所属	参加艇数	順位	備考
470男子	関 一人 柳川 祥一	関東自動車工業	86	7	メダルレース
	松永 哲也 上野 太郎	Three Bond		20	
	山田 寛 中村 健一	Team SLED		32	
470女子	吉迫 由香 大熊 典子	ベネッセコーポレーション	48	2	メダルレース
	近藤 愛 鎌田 奈緒子	アビームコンサルティング		10	メダルレース
	井嶋 千寿子 加藤 彩香	東亜建設工業		27	
レーザー	飯島 洋一	飯島木型	137	91	
	永井 久規	豊田合成		108	
	沖西 祥宏	SPNセーリング		120	
	ホール イアン	第一経済大学		121	
ラジアル	石川 あゆみ	ベネッセコーポレーション	80		
	長谷川 哲子	静岡大学			
イングリング	重 由美子 堀内 真優美	玄海セーリングクラブ	28	17	
	名倉 海子	飛鳥建設			
RS:X女子	小菅 寧子		49	26	
49er	石橋 顕 牧野 幸雄	Team Believe	53	44	



ウ. I S A Fセーリングゲーム 5月6日～5月20日 オーストリア・Lake Neusiedl

参加艇 470級男子3、女子3、レーザー級4、ラジアル級2、RS:X男子1、女子1

種目別順位

種目	選手名	所属	参加艇数	順位	備考
470男子	関 一人 柳川 祥一	関東自動車工業	59	7	コート' メダルレース
	松永 哲也 上野 太郎	Three Bond		25	
470女子	吉迫 由香 大熊 典子	ベネッセコーポレーション	37	6	コート' メダルレース
	田畑 和歌子 栗田 直美	第一経済大学		11	コート'
レーザー	永井 久規	豊田合成	75	40	コート'
	飯島 洋一	飯島木型		56	
ラジアル 々	石川 あゆみ	ベネッセコーポレーション	65	44	
	長谷川 哲子	静岡大学		64	
RS:X男子	富澤 慎	関東学院大学	48	16	コート'
	合志 明倫	ウイダー/ナイキ		25	コート'
RS:X女子	小菅 寧子	フリー	27	12	コート'
	須長 由季	Miki House/TEARS		18	
49er	石橋 顕 牧野 幸雄	Team Believe	31	18	

(2) 49er級世界選手権大会 6月4日～11日 フランス・エクスルバン

順位

選手名	所属	参加国数	参加艇数	国順位	総合順位	備考
石橋 顕 牧野 幸雄	Team Believe	24	92	22	54	シルバー
轟 賢二郎	関東自動車工業				37	(注13)

(注13)

轟チームはNTクルー高橋選手が怪我のためにMr. Steigerと参加、ランキング判定対象外

(3) イングリング級世界選手権大会 6月25日～7月8日 フランス・ラ ロッシュェル

順位

選手名	所属	参加国数	参加艇数	国順位	総合順位	備考
重 堀内 江口	玄海 飛鳥建設	19	37	17	28	

(4) レーザーラジアル世界選手権大会 7月30日～8月4日 米国・マリーナデルレイ

順位(注14)

選手名	所属	参加国数	参加艇数	国順位	総合順位	備考
石川 あゆみ	ベネッセコーポレーション	31	89	29	67	シルバー
浜口 睦美	鳥取県セーリング連盟				83	々
長谷川 哲子	静岡大学				84	々

(注14)

【資料2】

アテネオリンピック以降レーザー級成績分析資料参照

(5) レーザー級世界選手権大会 9月5日～9月20日 韓国・済州島

順位(注14)

選手名	所属	参加国数	参加艇数	国順位	総合順位	備考
飯島 洋一	飯島木型	39	128	25	54	ゴールド
永井 久規	豊田合成				82	シルバー
ホール イアン	第一経済大学				96	々
安田 真之介	鹿屋体育大学				116	々
前田 弘樹	マツダ				123	(注15) 々

(注15)

NT外選手、アジアパシフィック枠で参加

(6) オリンピックテストイベント 8月18日～8月31日 中国・青島 (注16)

参加艇 470級男子2、女子2、49er級2、イングリング級1、RS:X男子2、女子2

種目別順位

種目	選手名	所属	参加国数	参加艇数	国順位	総合順位	備考
470男子	関 一人 柳川 祥一	関東自動車工業	25	42	5	6	メダルレース
	松永 哲也 上野 太郎	Three Bond				13	
470女子	吉迫 由香 大熊 典子	ベネッセコーポレーション	23	37	5	6	メダルレース
	田畑 和歌子 栗田 直美	第一経済大学				21	
イングリング	重 堀内 江口	玄海 飛鳥建設	12	16	9	12	
49er	轟 賢二郎 高橋 賢二	関東自動車工業	15	22	13	17	
	石橋 顕 牧野 幸雄	Team Believe				18	
RS:X男子	富澤 慎	関東学院大学	20	34	12	17	
	杉原 祐史	JAL				24	
RS:X女子	小菅 寧子	フリー	19	30	10	13	
	須長 由季	Miki House				25	

(7) 470級世界選手権大会 9月4日～9月13日 中国・日照 (注17)

男子順位

選手名	所属	参加国数	参加艇数	国順位	総合順位	備考
山田 寛 中村 健一	Team SLED	28	87	14	27	ゴールドフリート
関 一人 柳川 祥一	関東自動車工業				33	シルバーフリート
松永 哲也 上野 太郎	Three Bond				44	々
吉峰 秀樹 中村 昭仁	高松市役所 境港造船				47	々
渡辺 哲雄 今村 公彦	星林高校 JR九州				53	々

(注16)

【資料3】

オリンピックテストイベント報告および成績分析 参照

(注17)

【資料4】

470級詳細成績 参照

女子順位

選手名	所属	参加国数	参加艇数	国順位	総合順位	備考
近藤 愛 鎌田 奈緒子	アビームコンサルティング*	28	60	2	2	ゴールド* メダルレース
吉迫 由香 大熊 典子	ヘネッセコーポレーション				5	ゴールド* メダルレース
田畑 和歌子 栗田 直美	第一経済大学				28	ゴールド*
井嶋 千寿子 加藤 彩香	東亜建設工業				32	シルバー

(8) RS : X級世界選手権大会 9月20日～9月30日 イタリア・トルボレ

男子順位

選手名	所属	参加国数	参加艇数	国順位	総合順位	備考
富澤 慎	関東学院大学	38	164	23	63	ゴールド*
合志 明倫	ウイダー/ナイキ				64	ゴールド
谷 賢二郎	山口県セーリング連盟				115	シルバー
小川 達郎					134	シルバー-自費参加

女子順位

選手名	所属	参加国数	参加艇数	国順位	総合順位	備考
小菅 寧子	フリー	28	80	14	29	ゴールド*
須長 由季	Miki House				39	ゴールド*
大西 富士子	桜美林大学				62	シルバー-自費参加

(9) スター級世界選手権大会 9月27日～10月8日 アメリカ・サンフランシスコ

順位

選手名	所属	参加国数	参加艇数	国順位	総合順位	備考
鈴木國央 和田大地	和歌山セーリングクラブ 日吉染業㈱	24	66	17	41	

・大学生・ユース選手

(1) I S A Fワールドユース選手権大会 7月12日～7月21日 英国・ウェイマス

種目別順位

種目	選手名	所属	参加艇数	順位	備考
420男子	飯東 潮吹 古谷 信玄	福岡第一高等学校	35	10	
420女子	高橋 友海 津ヶ谷 加依	三ヶ日高等学校	24	16	
レーザー	湯浅 直人	秀明高等学校	44	37	
レザ・ラシアル	鬼塚 弥那美	唐津西高等学校	42	30	
RS:S男子	高橋 良典	福岡西陵高等学校	29	22	自費参加

(2) 470級ジュニアワールド選手権大会 7月21日～7月30日 ドイツ・トラベミュンデ

順位

選手名	所属	参加国数	参加艇数	総合順位	備考
宮川 英之 吉見 亮平	第一経済大学	29	128	21	
市野 直毅 佐藤 翔	関西学院大学			50	
川添 正浩 坂上 佑真	生田東、日比谷高校			121	

## 4. 2006年10月以降の事業計画

### 1. 国内強化合宿

- (1) 470級選手招聘合宿
- (2) アジア大会事前合宿
- (3) RS：X級ナショナルチーム強化合宿
- (4) JISS（国立スポーツ科学センター）を利用したナショナルチームフィットネス合宿

### 2. 競技会開催

- (1) JSAFオリンピックウィーク
- (2) 2007年度ナショナルチーム選考レース

### 3. 海外派遣

- (1) アジア大会派遣（注18）

## 5. 2006年度ナショナルチームランキング（注19）

全オリンピック種目世界選手権大会が終了、2006年3月18日公示のナショナルチーム選手ランキング制度に基づき艇種別、個人別ランキングが確定したので別紙の通り発表をします。  
なお、ランキング制度の目的は公示されていますが確認の意味で再度記載します。

### 【目的】

強化対象オリンピック艇種およびその他のオリンピック艇種の選手を対象に2006年度世界選手権大会（V. その他4.「世界選手権が開催されない艇種の取り扱い」を除く）の成績で、2007年度事業における艇種別ランキング、個人別ランキングを明確にし、それを基に2007年度NT数、強化費およびその他の補助の算定基準とし、選手強化を図ることを目的とする。

本ランキング制度は、2008年世界選手権大会まで継続する。ただし係数等で問題があるとオリンピック特別委員会が判断した場合は変更する場合がある。（注19）

（注18）

【資料5】

アジア大会選手団名簿 参照

（注19）

【資料6】

ランキング資料 参照

（注19）

公示から抜粋

## 6. 2007年度ナショナルチーム選考レース

### (1) 2007年度選考ナショナルチーム数

2007年度のナショナルチーム数（NT）については2006年3月14日付けで公示（注20）をしていますがランキングが確定した事を受け、基本艇種別NT数（基本艇数）にプラスする追加割振り数を以下の通りとします。

#### 2007年度クラス別NT数

クラス	基本艇数	基本人数	追加艇数	追加人数	合計艇数	合計人数
470男子	4	8	1	2	5	10
470女子	3	6	1	2	4	8
レーザー	3	3	0	0	3	3
レーザーラジアル	2	2	0	0	0	2
49er	1	2	0	0	1	2
RS:X男子	3	3	0	0	3	3
RS:X女子	2	2	1	1	3	3
<b>小計</b>	<b>18</b>	<b>26</b>	<b>3</b>	<b>5</b>	<b>19</b>	<b>31</b>
イングリング	0	0	1	3	1	3
スター	0	0	1	2	1	2
トーンード	0	0	0	0	0	0
フィン	0	0	0	0	0	0
<b>合計</b>	<b>18</b>	<b>26</b>	<b>2</b>	<b>5</b>	<b>21</b>	<b>36</b>

### (2) 選考レース概要

2007年度ナショナルチーム選考レースは2007年2月1日（木）～2月9日（土）神奈川県葉山新港でアビームコンサルティング（株）の支援を受けた冠大会として開催します。

大会の詳細は別紙「レース公示」を参照下さい。（注21）

（注20）

【資料7】

2006年3月14日公示07年度NT数基準 参照

（注21）

【資料8】

レース公示 参照

## 7. 2007年度全体計画

2007年度8月プレオリンピック終了までの計画・目標(注22)

1. 7月カスカイス世界選手権大会に於ける参加全種目オリンピック国枠獲得
2. 8月プレオリンピックにおける上位入賞
3. 青島の調査活動  
特に潮流

商船三井の艇輸送サポート、日本航空の特別運賃によるエクセスのサービス、ヨーロッパトヨタによる車両貸与のサポートは継続される予定ですが、特に7月カスカイスは日本からの参加艇も多く、早目の準備が必要となります。

別紙スケジュール表に基づき計画概要を説明しますので事前準備を行なって下さい。

## 8. アジア大会派遣に係わるJOCとの折衝経緯および JOCオリンピック選手団編成方針

アジア大会派遣セーリング選手団は別紙選手団名簿に記載の通り選手12名、役員3名の計15名に決定しましたが、その折衝経緯を別紙の通り報告いたします。(注23)

折衝家課程において今後アジア大会、オリンピック大会等のJOC派遣選手団決定に当たり成績重視の厳しい姿勢が取られるものと考えております。

オリンピック特別委員会およびセーリング連盟としては最大限の努力をしますが、参加枠を獲得したからと言って(特に2008年下位成績で獲得)オリンピック出場が約束されたものではない事を認識下さい。

(注22)

【資料9】

2006年9月－2007年8月オリ特スケジュール  
参照

【資料10】

2007年カスカイスWorldにおけるクラス別国枠  
参照

【資料11】

2005年12月公示 北京オリンピック日本代表  
選手選考方法 参照

(注23)

【資料11】

JOC「折衝経緯報告」参照



## 9. 全体質疑応答

## 10. 河野 JSAF 副会長・オリンピック特別委員会委員長 挨拶